

製品名: パキシリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03789

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 65 kDa; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	PXN
別名	PXN; Paxillin
遺伝子 ID	5829
SwissProt ID	P49023
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

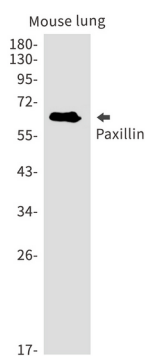
細胞外マトリックスへの細胞接着部位（フォーカルアドヒージョン）におけるアクチン膜への接着に関与する細胞骨格タンパク

質。PXNは、主に細胞外マトリックスへのフォーカルアドヒージョン部位に局在する多ドメイン細胞骨格タンパク質である。フォーカルアドヒージョンキナーゼ (FAK) によってリン酸化され、インテグリンシグナル伝達の構成要素である。そのリン酸化は、シグナル伝達分子をフォーカルアドヒージョンにリクルートするためのドッキング部位を提供する。

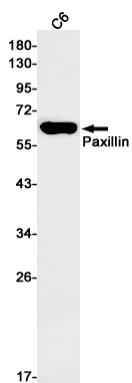
研究分野

シグナル伝達

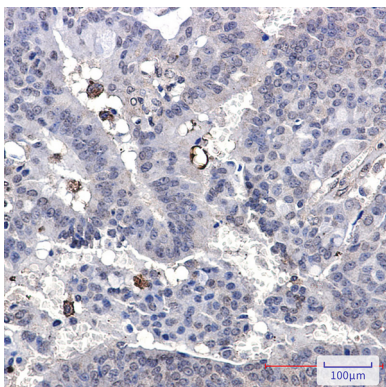
画像データ



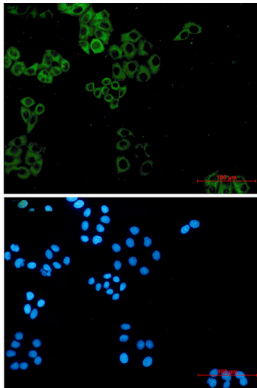
パキシリン抗体を使用したマウス肺溶解物中のパキシリンのウェスタンブロット分析。



パキシリン抗体を使用した C6 溶解物中のパキシリンのウェスタン ブロット分析。



パキシリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



パキシリン抗体と DAPI (青) を使用した、HeLA におけるパキシリン (緑) の免疫細胞化学分析。